

3. 意識障害者の状態: 身体機能

項目		人数(%) / Mean(±SD)
気管切開	あり	12(54.5)
	なし	10(45.5)
栄養摂取方法	経管摂取のみ	5(22.7)
	経管+経口摂取	8(36.3)
	経口摂取のみ	9(40.9)
関節拘縮	全身性	12(54.5)
	局所性	10(45.5)

4. 在宅療養前の介護方法の指導状況

表 在宅療養前の介護指導

あり	16(72.7)
なし	5(22.7)
その他	1(4.5)

表 医療処置およびケアに関する指導方法

項目	1.口頭	2.資料・マニュアル	3.実技見学	4.実技指導(体験)	5.無回答
1 気管切開の管理	2(12.5)	1(6.3)	4(25.0)	1(6.3)	8(50.0)
2 吸引	4(25.0)	1(6.3)	2(12.5)	6(37.5)	3(18.8)
3 経管栄養	4(25.0)	0(0.0)	3(18.8)	7(43.8)	2(12.5)
4 点滴の管理	2(12.5)	0(0.0)	1(6.3)	0(0.0)	13(81.3)
5 尿留置カテーテル	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
6 浣腸・排便	3(18.8)	0(0.0)	3(18.8)	2(12.5)	8(50.0)
7 口腔ケア	3(18.8)	2(12.5)	2(12.5)	4(25.0)	5(31.3)
8 入浴	2(12.5)	0(0.0)	4(25.0)	3(18.8)	7(43.8)
9 清拭	3(18.8)	1(6.3)	5(31.3)	5(31.3)	3(18.8)
10 更衣	2(12.5)	0(0.0)	6(37.5)	6(37.5)	2(12.5)
11 オムツ交換	2(12.5)	0(0.0)	5(31.3)	7(43.8)	2(12.5)

※在宅療養前に介護指導を受けた人における割合

4. 在宅介護を経験して、どのような技術指導が必要だと思うか。

- ・意識回復の方法
- ・意思表示をさせる方法
- ・口腔ケア、顔のマッサージ
- ・嚥下訓練
- ・吸引の方法
- ・座位のとり方
- ・身体的な負担の少ない移乗方法
- ・関節拘縮が強いため、関節をゆるめる方法、・関節拘縮を軽減する方法
- ・嚥下や胃瘻のトラブルについて
- ・経管栄養の容器を清潔に保つ方法
- ・皮膚が弱いので感染をおこさないような清拭の方法
- ・浣腸、摘便の注意点
- ・トイレ介助に伴う立位訓練、立位での浣腸による危険性など
- ・在宅でのリハビリの方法
- ・自分の好きなようにやっているため、より良い介護かどうかわからなくなる

5. その他、現在介護している上で困っていること(自由記述)

- ・主介護者（本人の母親）が60歳近くになっているので体力の低下が問題である。
- ・ショートステイ先の充実（親以外の人にみてもらうのも“本人”の自立になる）。
- ・親亡き後の介護をしてくれる施設の充実。
- ・ヘルパーは吸痰できないので、ヘルパーに任せて外出したり、家事ができない。
- ・何も食べていないのにむせ込んでいるのは？
- ・ロパクで何かを伝えているけど、わからなくて困る。
- ・排便の管理
- ・筋肉の廃用性拘縮の問題に対する適切な訓練方法が知りたい。また、咽頭反射が不十分。な場合の対処法など。
- ・筋緊張の緩和、関節拘縮を軽減する方法について知りたい。
- ・体幹の変形・呼吸状態等に尋ねてもきちんとしたアドバイスが受けられない。
- ・行政からの援助を全国的に平均化してほしい。
- ・オムツ交換の時にすごい力を入れ、足をつっぱることがある。
- ・歯磨き時に徐々に口を開けてくれて奥歯の方も歯磨きができるようになってきた。しかし、嚥下の練習でスプーンが口にさわると一文字に口を閉じてしまい困っている
- ・夏なのでTシャツを着せているのですがどのように着せてあげたら良いのか四苦八苦している。

- ・気管切開をとりたいと思うが、抜去できる基準について知りたい。
- ・病院とか外来で受診する際にも、車椅子乗車ができない。民間救急車のストレッチャーで通っている。移動のたびに料金がかかるので、早く車椅子に乗れるようにしたい。
- ・雑用が多く思った通りの介護ができない。また、今やっている事が本当に効果があるのか疑問に思うことがある。
- ・首のすわりが悪い。何とか少しでも自分で支えられるようにしたい。そのための方法を知りたい。
- ・口が開かないので、口の中の歯肉炎がなかなか治らないので困っている。
- ・毎日訓練する事が大切だと思うが、特に嚥下訓練では眠ってしまう時があるのでつい休みがちになってしまう。どの程度まで口から摂取をして良いか迷いがある。
- ・介護者だけでは、なかなか腹臥位や長座位ができない。
- ・オムツを取りたい。尿意は残っているようだが、タイミングが合わない。
- ・たくさん外出したいが、坂などで車椅子が重く介助できない。
- ・1歩でもあるけるようにしたいが、家族だけでうまく誘導できません。
- ・本人の意欲をどう保つかも悩ましい。
- ・夜間に汗を大量にかくので、温度調節が難しい。
- ・体温調節がうまくできない。特に冬場は低体温（ひどい時は33℃以下）になってしまうのでけいれん発作を起こしやすくなる。外から暖める以外に、内側から体体温を保つようにできる何か良い方法があれば教えて欲しい。
- ・排尿・排便の感覚を思い出す方法を教えて欲しい。
- ・オムツ交換の時にどのようにしたら衛生的か考えている。

遷延性意識障害者の介護者の技術研修会 アンケート結果

1. 介護技術の理解

理解度	人数 (%)
十分理解できた	11 (45.8)
少し理解できた	13 (54.2)
どちらともいえない	0 (0.0)
ほとんど理解できない	0 (0.0)
まったく理解できない	0 (0.0)

2. 技術研修会の実施時間

時間	人数 (%)
とても長い	1 (4.2)
少し長い	7 (29.2)
どちらともいえない	8 (33.3)
少し短い	8 (33.3)
とても短い	0 (0.0)

3. 技術研修会の満足度について

満足度	人数 (%)
とても満足	16 (66.7)
少し満足	6 (25.0)
どちらともいえない	2 (8.3)
ほとんど満足していない	0 (0.0)
まったく満足していない	0 (0.0)

4. 技術研修会の感想、今後の介護教室への要望

- ・とても参考になり充実した1日だった。
- ・介護者の状態に合わせて、技術研修をしてもらえると良いと思う。
- ・吸引、経管栄養等の教室も開催して欲しい。
- ・大変参考になったが、一度見ただけでは覚えられない。同じ内容でも何度か参加させてもらいたい。また、映像で何度も見られるものがあればとてもありがたい。特に(1人で)腹臥位にする方法をもう一度学習したい。ビデオがあるとなお良いと思う。
- ・大変勉強になった。同じことを家で実行するには、もう一度受けないと...という、心配があるが、できることをしっかり実行したい。

- ・講義より実技を重視してほしい。
- ・実習の時、補助の人が横にいて、参加者の実技をチェックする指導方法がよかった。テクニックだけでなく、理論的なことも教えてくれたので良かった（全ても理解した訳ではないが）。車椅子の移乗では、“首のすわらない人”に対する方法も考えてもらいたい。意識障害で10年経過しているが、“首のすわり”は全然改善しない。
- ・このような研修会を全国家族会の拠点地区で開催してほしい。
- ・指導技術はわかりやすく、丁寧であった。しかし、すべて自宅でできるか不安である。
- ・内容は実技中心だったので勉強になった。
- ・内容は本当によかったと思う。スタッフの皆さんの対応も、今まで家族はどんなにこのような機会を待っていたかと思う。本当はもっと交通の便のよい所で行ってほしいが、会場の確保が大変だと思った。しかし、家族会としてはもっと開催してほしい。黒岩先生にもお会いできて、とても感謝している。家族会としては、この研修会が継続して開催できるよう、是非協力していきたい。NHKの放送後の問い合わせを受けていたので、痛感している。医療従事者の皆さんのチームワークと、看護に対しての医療費がついていないこと等、日本の医療制度の不十分な点が遷延性意識障害に対してどんなに大変なことか…。患者家族会ももっと声を上げていかなければならないと思った。
- ・在宅10年になるが、まだ知らなかったことが多く大変勉強になった。すぐ実行できることばかりだった。
- ・意識障害の発症間もない人に、なるべく受けさせてあげたい。
- ・在宅だけでなく、入院中の患者が施設内や外泊時にしてあげたいと思う人もいるので、介護教室への受講の機会を与えてもらいたい。
- ・全国各地で開催してもらいたい。
- ・腹臥位といっても、なかなか首がすわらないケースや、痙攣が起こってしまうようなケース（抗痙攣剤を増やすと眠ってしまうので薬は少なくしている）は、どうしたらよいか教えて欲しい。
- ・全国で介護技術の研修を大勢の人に受けさせてあげたいと思った。たくさんのスタッフがいたので、細やかな指導をしてもらった。
- ・家族の会の全員に参加してほしいと思った。1回では無理だと思うので、何回もお願いしたいと思う。
- ・たいへん勉強になった。すぐに実行したいことばかりだった。
- ・指導内容は、事前にアンケートなどでいくつかグループ分けをして、内容のマッチングを図ってもらおうとありがたい（各人がしっかり必要な技術を体験できるように）。方法はやはり少人数での実技を希望する。場所は自宅近所でない、デイサービスもショートステイもないので、長時間は厳しい。
- ・実際介護する上で、分かっているようで分かっていない介護のしかたに気づき、嬉しかった。

6. 介護を手伝ってくれる方（副介護者）はいますか。該当する番号に○をつけてください。

1. 一人いる	2. 二人いる	3. 三人いる	4. 三人以上いる	5. いない
6. その他 ()				

7. 意識障害の方の状態について、該当する番号に○をつけてください。

1) 意識の状態

1. 声かけしても外見的にはほとんど反応は見られない
2. 声かけにより表情が変化する、または体の一部が動く（指先を動かすなど）
3. 手を握ってくださいなどの簡単な指示に応じるときがある
4. 声かけにより声を出すことがある
5. 声かけに対して言葉を発して答える
6. その他 ()

2) 意思の疎通

1. 外見的には意思の表出はほとんど見られない
2. 表情の変化、まばたき、指を動かす、手を握るなどのサインにより意思を表出する
3. 声をだすことにより意思を表出する
4. 文字盤やトーキングエイド、筆談、パソコンなどを使用して意思を表出する
5. 言葉で意思を表出する
6. その他 ()

3) 気管切開の有無と栄養摂取方法

気管切開： 1. あり	2. なし	3. その他 ()
栄養摂取方法： 1. 経口摂取のみ		
2. 経管栄養+経口摂取(1食以上)		
3. 経管栄養+経口摂取 (少量、楽しみ程度)		
4. 経管栄養のみ		
5. 点滴		
6. その他 ()		

4) 関節拘縮について ※ご家族からみた、おおよその状態に○をつけてください。

1. 肩関節	左 (強い・弱い・なし)	右 (強い・弱い・なし)
2. 肘関節	左 (強い・弱い・なし)	右 (強い・弱い・なし)
3. 手首・手指	左 (強い・弱い・なし)	右 (強い・弱い・なし)
4. 股関節	左 (強い・弱い・なし)	右 (強い・弱い・なし)
5. 膝関節	左 (強い・弱い・なし)	右 (強い・弱い・なし)
6. 足首・足趾	左 (強い・弱い・なし)	右 (強い・弱い・なし)
7. 体幹の変形	(強い・弱い・なし)	

8. 在宅療養を始める前に介護の方法について、専門職からの指導はありましたか。

1. 指導あり	2. 指導なし	3. わからない
4. その他 ()		

9. 介護方法の指導を受けた方にお伺いします。

どのような介護技術の指導を受けましたか。当てはまる項目の、①指導(説明)方法、②指導後の評価について、該当する番号に○をつけてください。(複数可)

項目	①指導(説明)方法 *複数可	②評価「役にたったか」*一つ
1.気管切開 ・気切口の清潔 ・ガーゼ交換の方法など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
2.吸引 ・気管または口腔内の実施方法 ・注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
3.経管栄養 ・胃ろう挿入部の清潔 ・滴下方法、注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
4.点滴の管理 ・挿入部の清潔、滴下方法、 注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
5.膀胱留置カテーテル ・挿入部の清潔、注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
6.浣腸・排便の方法 ・実施方法、頻度、注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
7.口腔ケア ・実施方法、注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
8.入浴 ・実施方法、注意点など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
9.清拭 ・体の拭き方 ・陰部の洗浄方法など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導(体験) 5.その他()	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく

10.更衣 ・実施方法、拘縮時の注意点 など	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導（体験） 5.その他（ ）	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
11.オムツ交換 ・実施方法、頻度、拘縮時の 注意点	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導（体験） 5.その他（ ）	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく
12.その他 （ ）	1.口頭 2.資料・マニュアル使用 3.実技の見学、4.実技指導（体験） 5.その他（ ）	1.とても 2.少し 3.どちらともいえない 4.ほとんど 5.まったく

10. 在宅介護を経験して、どのような技術指導が必要だと思いますか。また、どのように指導すればよい（指導を受けたい）と思いますか。

11. その他、現在介護している上で困っていることがありましたら、自由にご記述ください。

ご協力ありがとうございました。

遷延性意識障害者の介護者の技術研修会 アンケート

下記の質問について、当てはまる番号に○印を付けてください。また、各質問に関するご意見をご記入下さい。

1. 介護技術は理解できましたか

1 十分 2 少し 3 どちらともいえない 4 ほとんど 5 まったく

--	--	--	--	--

※【4ほとんど、5まったくの方はその理由もご記入ください】

2. 技術研修会の実施時間について

1 とても長い 2 少し長い 3 どちらともいえない 4 少し短い 5 とても短い

--	--	--	--	--

※【その理由もご記入ください】

3. 技術研修会の満足度について

1 十分 2 少し 3 どちらともいえない 4 ほとんど 5 まったく

--	--	--	--	--

※【4ほとんど、5まったくの方はその理由もご記入ください】

4. 技術研修会の感想、今後の介護教室への要望（例：技術内容、指導方法、参加費、開催場所など）について、忌憚のないご意見をお聞かせください。

→裏面もお使いください

ご協力ありがとうございました。お疲れさまでした。

